SANUS SYSTEMS

MF110 壁掛け金具
取扱説明書

-----26 ～ 42V 型の薄型テレビで、重量 45kg 以下に適用 -----

このたびは、MF110 の薄型テレビ壁掛け金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
MF110 は、最大 VESA の 200mmX200mm の薄型テレビが取付け可能な上、壁面から最大 241mm 手前に引き出す事が出来ます。又、± 30°の左右方向への首振りや、+5° -15°の上下方向の視野角調整や、更に ±6°の左右の傾き調整が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

液晶テレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、
設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明してます。

⚠ 警告	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。
🚫	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。
❗	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

⚠ 警告

🚫 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

⚠ 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

🚫 荷重に耐えられない場所には取り付けないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の４倍の強度に耐える場所が必要です。

MF110-1 Ver1.0

⚠ 警告

禁止

MF110 薄型テレビ壁掛け金具は、26 ～ 42V 型以下で総重量 45kg 以下の薄型テレビを、壁面に固定するものです。
42V 型以上、45kg 以上の液晶テレビの取付には、絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、液晶テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。

禁止

湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないと、テレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。

テレビの取り付けや取り外し作業は、２人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

禁止

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

吊下げ金具を組み立てたり、吊下げに使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、キャビネットや棚板の材質や厚みによっては、不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

２．部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次の A 図及び B 図の部品名と現品の形状を確認しておいて下さい。

A 図

(A) 壁掛け金具本体 ‥‥‥ １コ

(B) アームアセンブリー ‥‥‥ １コ

(C) M4 x 12 ネジ ‥‥‥ ４コ

(D) M5 x 12 ネジ ‥‥‥ ４コ

(E) M6 x 12 ネジ ‥‥‥ ４コ

(F) M4 x 30 ネジ ‥‥‥ ４コ

(G) M5 x 30 ネジ ‥‥‥ ４コ

(H) M6 x 35 ネジ ‥‥‥ ４コ

(I) M4 ロックワッシャー ‥‥‥ ４コ

(J) M5 ロックワッシャー ‥‥‥ ４コ

(K) M6 ロックワッシャー ‥‥‥ ４コ

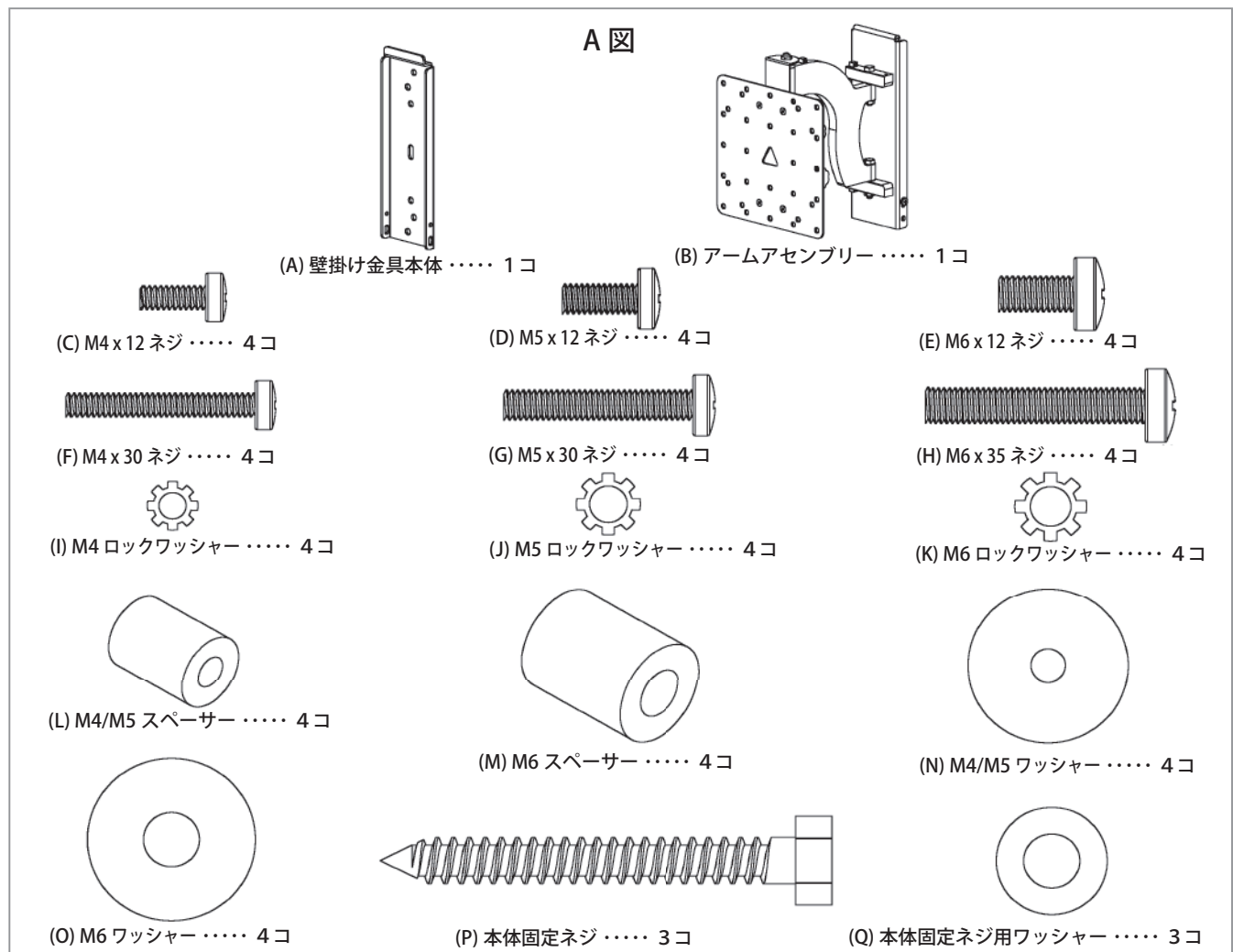
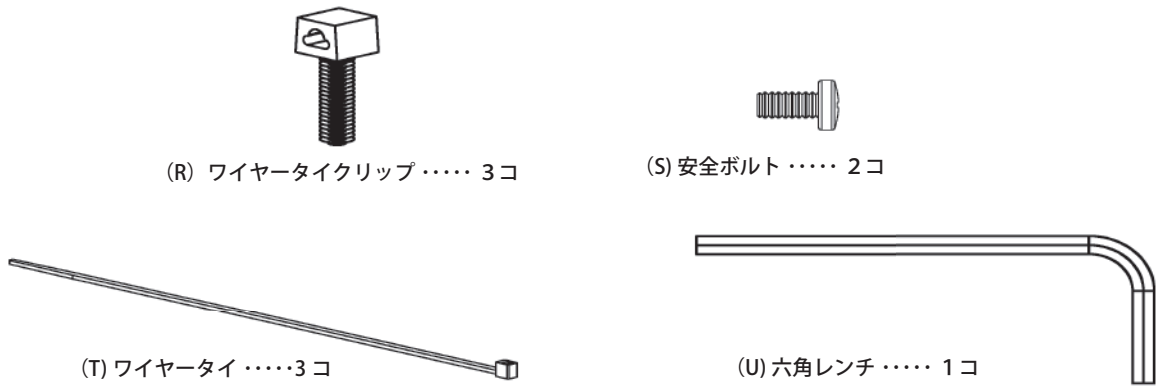
(L) M4/M5 スペーサー ‥‥‥ ４コ

(M) M6 スペーサー ‥‥‥ ４コ

(N) M4/M5 ワッシャー ‥‥‥ ４コ

(O) M6 ワッシャー ‥‥‥ ４コ

(P) 本体固定ネジ ‥‥‥ ３コ

(Q) 本体固定ネジ用ワッシャー ‥‥‥ ３コ

3　組み立てかた

1　壁掛け金具本体の取付け

注意

壁掛け金具を取り付ける壁面は、最大 45kg の液晶テレビの重量を保持する強度が必要です。
各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。　なお、この取り付け金具は、木柱専用なので、コンクリートや、鉄柱や、鉄骨には取り付けできません。
下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

注意 *：本体固定ネジを締めすぎないようにしてください。本体固定ネジ (P) は、本体固定ネジ用ワッシャー (Q) が壁掛け金具本体 (A) に密着する程度に締めつけます。ドライウォールその他の材質の層がある場合は、このドライウォールなどの材質の厚さが 16mm 以下でなければなりません。この確認を怠ると、器物の破損やケガを引き起こすおそれがあります。*

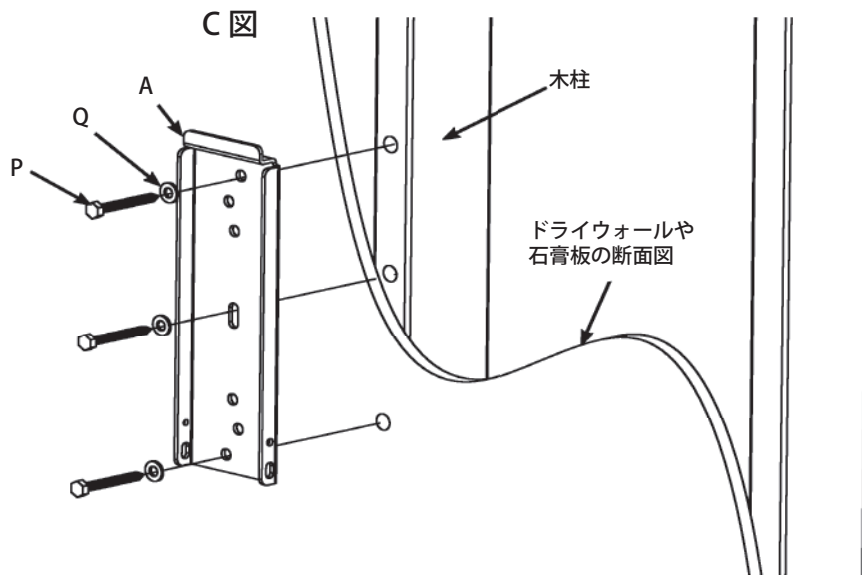
木柱への取付

（1）高性能の間柱センサー、又は細い釘を使用して、間柱の建っている位置を確認してます。

（2）壁掛け金具本体 (A) を、間柱の上にある壁面に押し当てて、3 カ所の取付ネジの位置に印を付けます。

（3）次に、印を付けた位置に 4.8 mm のドリルを使って、深さ 64mm の下穴を 3 カ所開けます。

（4）この下穴に、3 本の本体固定ネジ（P) と本体固定ネジ用ワッシャー（Q) を使い、壁掛け金具本体 (A) の平らな面が壁に接する様に、C 図 の通りに壁に取り付けます。

注意 : 液晶テレビの垂直方向の取付位置は、この壁掛け金具本体を取り付けた場所が中心になります。

2　背面が平坦な液晶テレビへのブラケット取り付け

液晶テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

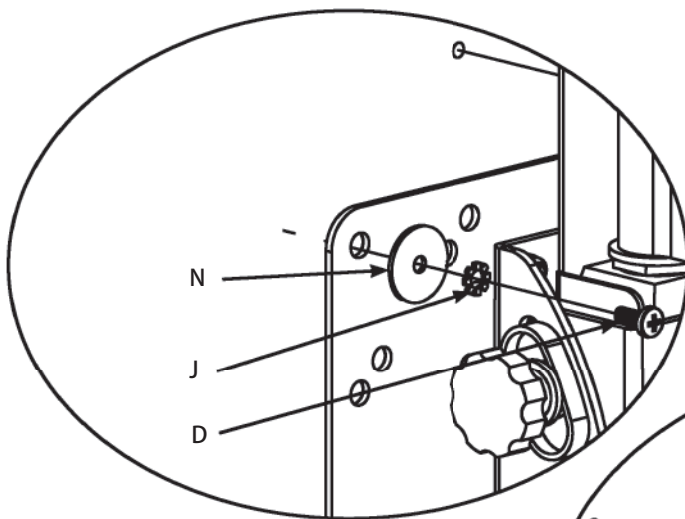
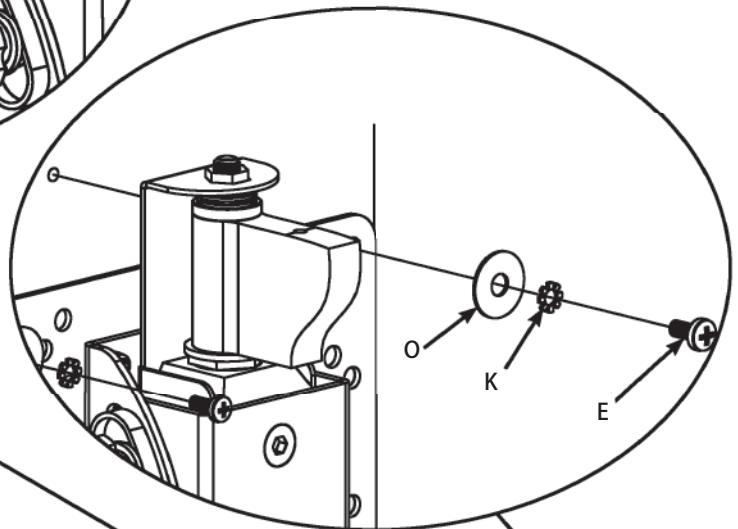
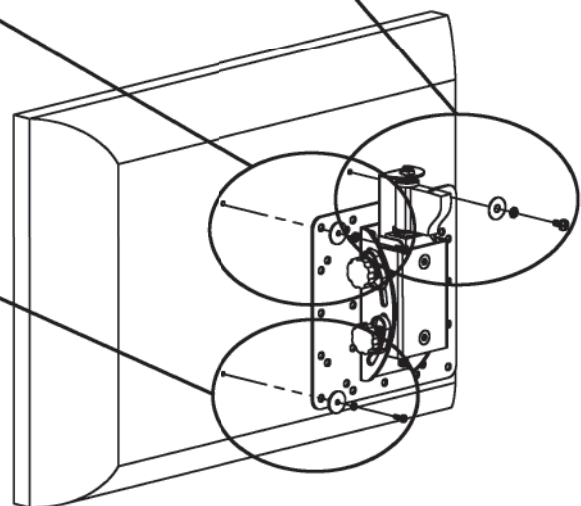
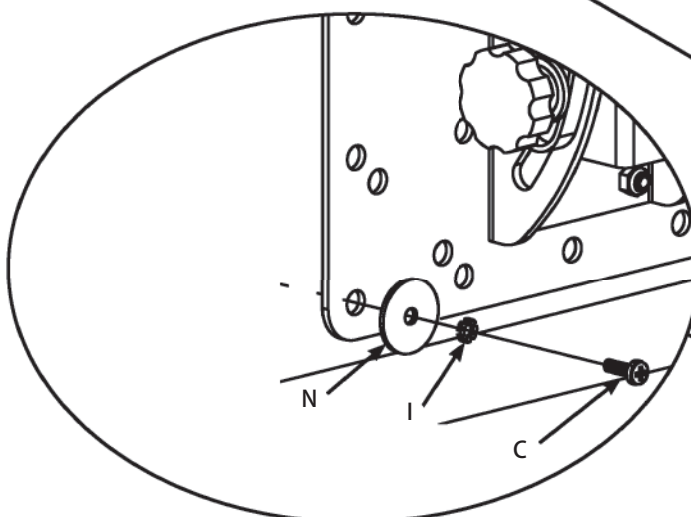
（1）液晶テレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
　液晶テレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。

（2）液晶テレビの背面に取り付けるアームアセンブリー (B) の場所を見つけ、そこのネジ穴の径を調べます。
　M4 ネジ (C)、M5 ネジ (D)、M6 ネジ (E) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
　もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

（3）アームアセンブリー（B) を液晶テレビの後側で、テレビの上下左右の中央部に垂直に置きます。

（4）先に調べたネジの径により、D 図、E 図、F 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (I)、(J)、(K) 、及びワッシャー（N)、(O) を使って液晶テレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

（5）アームアセンブリーが液晶テレビの上下左右の高さの中央に配置されている事を確認して下さい。

注意：下の図は、重要な部品を示すためアームアセンブリーを断面で示します。

3　背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのある液晶テレビへのブラケット取付方法

液晶テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

（1）液晶テレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
　　液晶テレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。

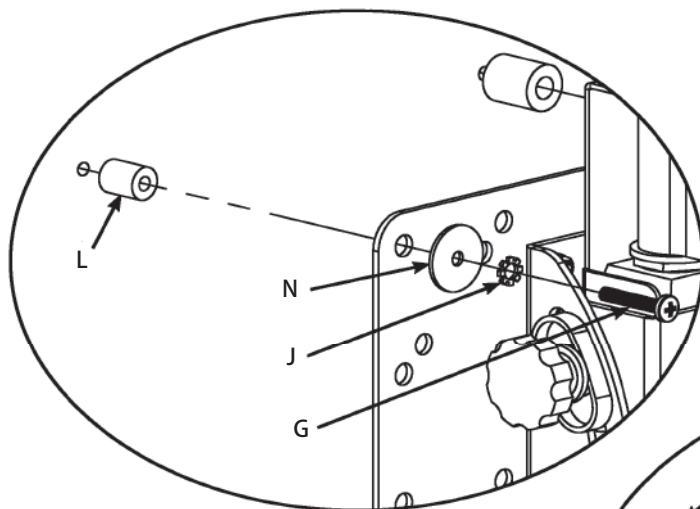
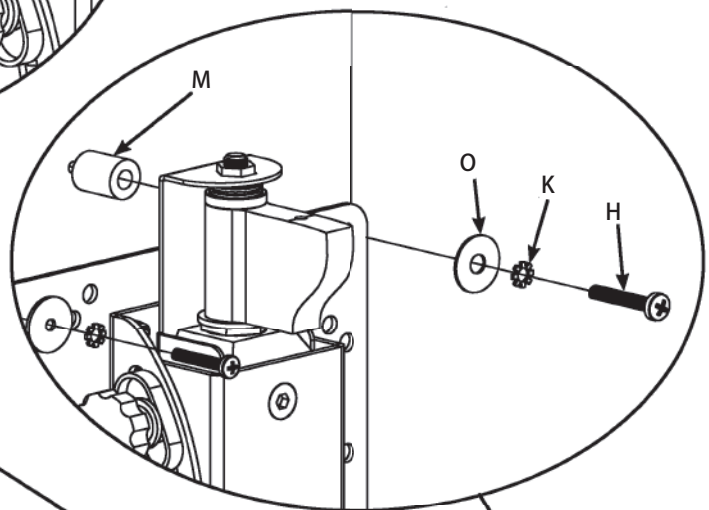
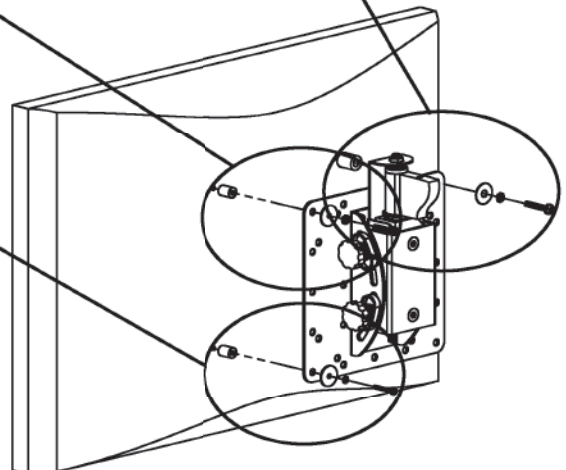
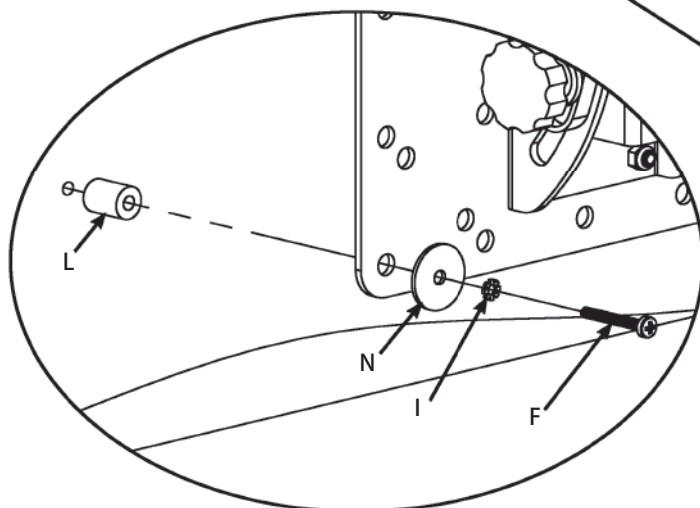
（2）液晶テレビの背面に取り付けるアームアセンブリー (B) の場所を見つけ、そこのネジ穴の径を調べます。
　　M4 ネジ (F)、M5 ネジ (G)、M6 ネジ (H) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
　　もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

（3）アームアセンブリー (B) を液晶テレビの後側で、テレビの上下左右の中央部に垂直に置きます。

（4）先に調べたネジの径により、G 図、H 図、I 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (I)、(J)、(K) と、 ワッシャー (N)、(O) と、
　　更にスペーサー (L)、(M) を使って液晶テレビにブラケットをしっかりと取り付けます。

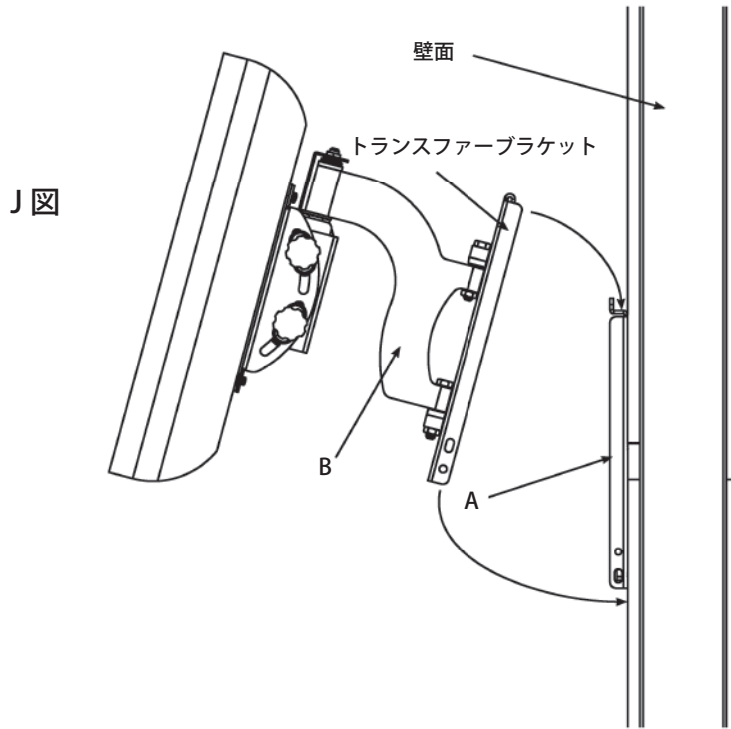
（5）アームアセンブリー（B）が液晶テレビの上下左右の高さの中央に配置されている事を確認して下さい。

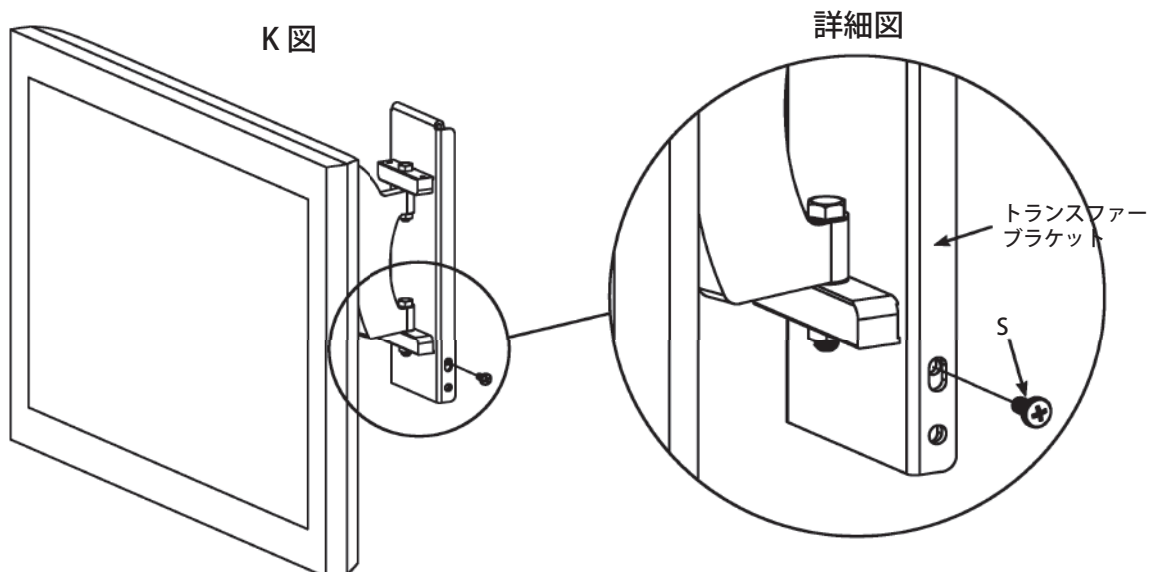
注意：下の図は、重要な部品を示すためアームアセンブリーを断面で示します。

MF110-4 ver1.0

4　液晶テレビを壁面に取り付ける

注意：液晶テレビはの取り付けは、２人以上で行って下さい。
テレビが落下してけがをしたり、テレビが破損する原因となることがあります。

（1）液晶テレビに取り付いているアームアセンブリー（B）のアームが垂直に真っ直ぐに伸びて、且つトランスファーブラケットがテレビと平行になるように、アームアセンブリー(B)を設置します。

（2）液晶テレビを持ち上げて、トランスファーブラケットの上部のつめを、J図の様に壁掛け金具本体（A)の上部のタブに引っかけます。又ブラケットの底部は、壁掛け金具本体に、回転させる要領で押し当てます。

5　安全ボルトを取り付ける

（1）K図の様に、安全ボルト(S)を、左右のトランスファーブラケットの側面にあるネジ穴ネジ穴に差し込んで、プラスドライバーできっちりと締め付けます。

注意：トランスファーブラケットの下部にある穴に、安全性を高めるため南京錠を取り付けることもできます。

6　アームアセンブリーの調整

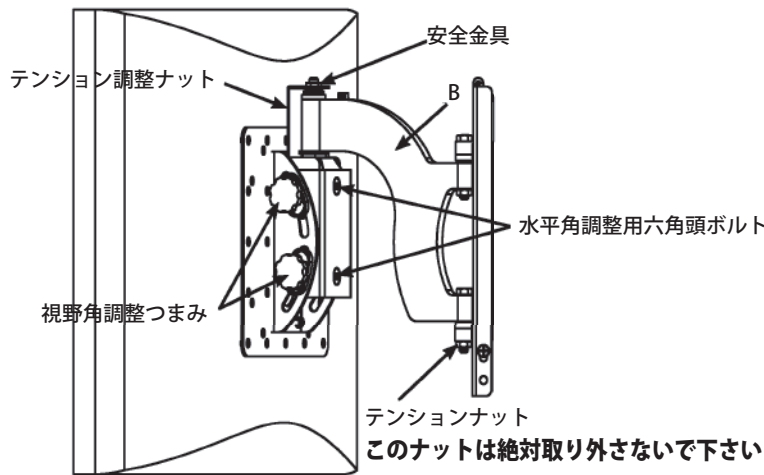
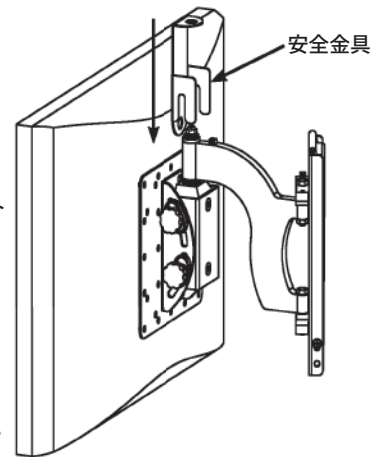
注意：図に表示されているテンションナットは、絶対取り外さないで下さい。

（1）液晶テレビの壁掛け金具本体 (A) への取り付けが完了し、安全ボルト (S) を締めつけたら、水平調整に取りかかります。

（2）アームアセンブリー（B) の背部にある 2 コ六角頭のボルトを、六角レンチ (U) で少しだけ緩めます。液晶テレビは、±6°の水平角度の調整が出来るようになります。

（3）液晶テレビが正しく水平になるようにテレビ自体を左右に動かして後に、再度この 2 コの六角頭のボルトを締め付けます。

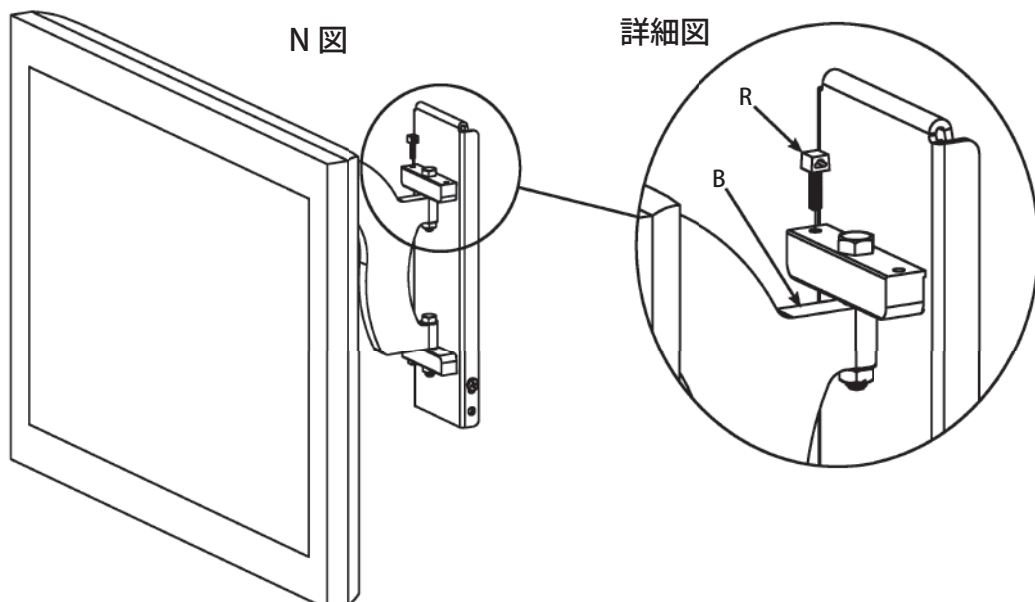
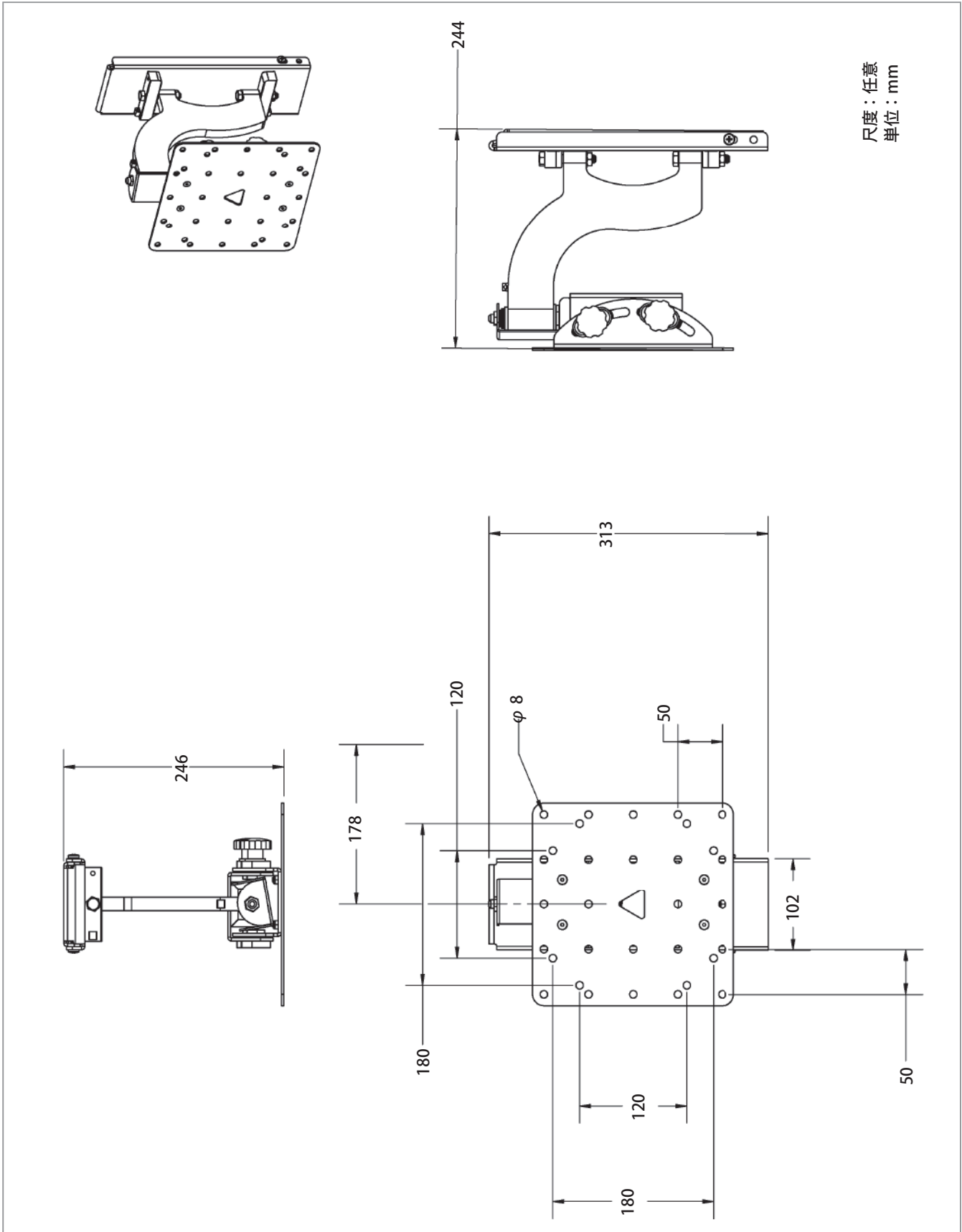
（4）視野角調整は、L 図に示した視野角調整つまみを一旦緩めてから、液晶テレビが、ご希望の上下方向の視野角になる様に、テレビ自体を動かして後、再度このつまみを締め付けます。

（5）アームアセンブリー（B) の可動部のテンションを調整するには、L 図に示したテンションナットを緩めたり、又は締め付けたりして、ご希望のテンションで動くように調整出来ます。もし、テンション調整が必要な場合は、M 図に示した安全金具を一旦取り外してから、テンションナットを回転させます。テンションの調整が完了したら、安全金具を元の位置に取り付けて下さい。

7　ケーブルやワイヤー類の整理

注意：ケーブルを挟み込まないようにしてください

（1）ケーブルの整理を始める前に、液晶テレビは、出来るだけ壁面から離して下さい。

（2）ケーブル類を動かす際に、ケーブルコネクタに余計な力が加わらないように、ケーブルにある程度のたるみをもたせます。ワイヤータイクリップ（R) は、詳細図に示した様に、アームアセンブリー（B) の上、又は下にある所定の穴に押し込んで取り付けます。

（3）ワイヤータイ（T) は、N 図の様にワイヤータイクリップ（R) に取り付けてから、ケーブルやワイヤー類を束線します。

4 MF110 外観図

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売売店又は弊社営業窓口へ
〒559-0031 大阪市住之江区南港東１丁目２－１６
ネットワークジャパン株式会社 TEL : 06-6612-2008 FAX : 06-6612-2050
http://www.network-jpn.com/ E-mail : info@network-jpn.com